

# 中学校 2年 国語科

感じる × 読む

育成したい  
国語力

筆者の感じ方、考え方を表現方法や言葉遣いに注意して、深く感じ取る。

## 単元名

### 古典に親しむ 『平家物語』 那須与一

## 単元の目標

音読への興味・関心を高め、主体的に取り組み、古文のリズムにより一層親しむ。  
友達と相互に学び合う活動によって、より主体的に古典の理解を深める。 (読む能力)

## 単元の流れ

### 第1～2時

- ・導入・目標設定
- ・基礎学習
- ・音読訓練・大意把握

### 第3時

- ・学習方法の見直し
- ・グループ研究場所の分担

### 第4～6時

- ・グループ研究作業

### 第7～8時

- ・小先生による相互学習
- ・補足学習

### 事後・関連等

- 調べ方・まとめ方
- 教え方について、
- 他の教科・領域で活用

## 学習の 内容や 方法

### 具体的方策1

#### 音読訓練・大意把握 第1段階

##### 【発声訓練】

##### 1 概要

「先生 生徒」もしくは「生徒 生徒(ペア)」の掛け合いによって発声をすすめる。  
「古文 古文」の発声から「口語訳 古文」の発声へ移行する。  
リズムよく発声していく。

##### 2 発声例

先生「折節北風激しくて」  
生徒「折節北風激しくて」  
先生「折節北風激しくて」  
生徒「折節北風激しくて！」  
先生「折から北風、激しく吹いて」  
生徒「折節北風激しくて!!!」  
先生「ずっと冷たい風が  
びゅーびゅー吹いていて」  
生徒「折節北風激しくて!!!」  
...このリズムで先に進めていく

##### 3 進め方

「先生 生徒」で一定のところまで進める。  
**グループや、ペアで音読場所を分担し、発表する。**  
評価し合ったり、学級全体で行ったりする。

#### 音読訓練・大意把握 第2段階

##### 【古文聞き取りテスト】

##### 1 準備物

- プリント
- ・上段...古文(メモ書き込み)
- ・下段...解答欄(答え書き込み)
- 聞き取りテープ(古文 口語訳を繰り返し読み進めた録音テープ)

「ころは二月十八日の 時は二月十八日の 酉の刻ばかりのことなるに 午後6時ごろのことであったが...」

音楽や効果音、先生自身の解釈を加えるなど、イメージがふくらむテープを作成する。

##### 2 進め方

- プリント配布
- 聞き取りテープを流す
- 口頭による設問 解答

##### 3 設問例

何時頃のことでしょうか。  
海や気象の状態はどのようでしたか。  
扇の状態はどのようでしたか。  
扇を射る前に、与一が目を閉じてしていたことは何ですか。

### 具体的方策2

#### グループ研究・指導 第1段階

##### 【グループ研究】

##### 1 概要

6グループで3つの課題から1つを分担(1つの課題について2グループが研究)  
本単元の学習はグループの研究によるものとする。(教師の補足)

##### 2 研究テーマ

- [テーマA] 知識『平家物語』  
歴史的背景  
名所・名跡
- [テーマB] 解釈「那須与一」  
語句の説明  
情景の説明  
5W1Hでまとめる  
与一の心の動き
- [テーマC] 思想『平家物語』  
「あ、射たり。」と  
「情けなし。」  
冒頭文  
一ノ谷での熊谷直実  
壇ノ浦 など

##### 3 進め方

研究成果は、他のグループに教えることができるようにプリント等にまとめる。

#### グループ研究・指導 第2段階

##### 【相互学習】

##### 1 概要

プリントにまとめた研究の成果を活用し、他のグループで小先生として教える。

##### 2 進行

3グループを一グループとして相互に教え合えるように分ける。  
各グループとも配布資料を他の2グループ分用意する。  
テーマAグループは2グループに分かれ、他のグループの小先生として研究成果を指導する。(15分程度)



テーマB・Cについても同様に行う。  
感想及び評価  
教師による補足学習

## 国語力育成の 視点

### 音読訓練・大意把握

- ・口語訳と連動した音読練習で、**古文の情景を感じる**ことができます。
- ・聞き取りテストを行うことで、注意深く大切に、**言葉一つ一つを感じる**ことができます。

### グループ研究・指導

- ・主体的に学習することで、**古典の世界を深く感じる**ことができます。
- ・相互に教え合うことで、**興味をもちながら意欲的に古典の世界を感じる**ことができます。